

# 京都教育大学FDニュース

No.63

2012年5月10日

FD委員会

\*\*\*\*\*

## 2011年度後期の学部FDアンケート集計結果について

教育学部講義の授業アンケート（2011年度後期）の実施にご協力いただき、ありがとうございました。調査の概要と結果をご報告いたします。

### 1. 調査の概要

実施期間：2012年1月7日（金）～26日（水）

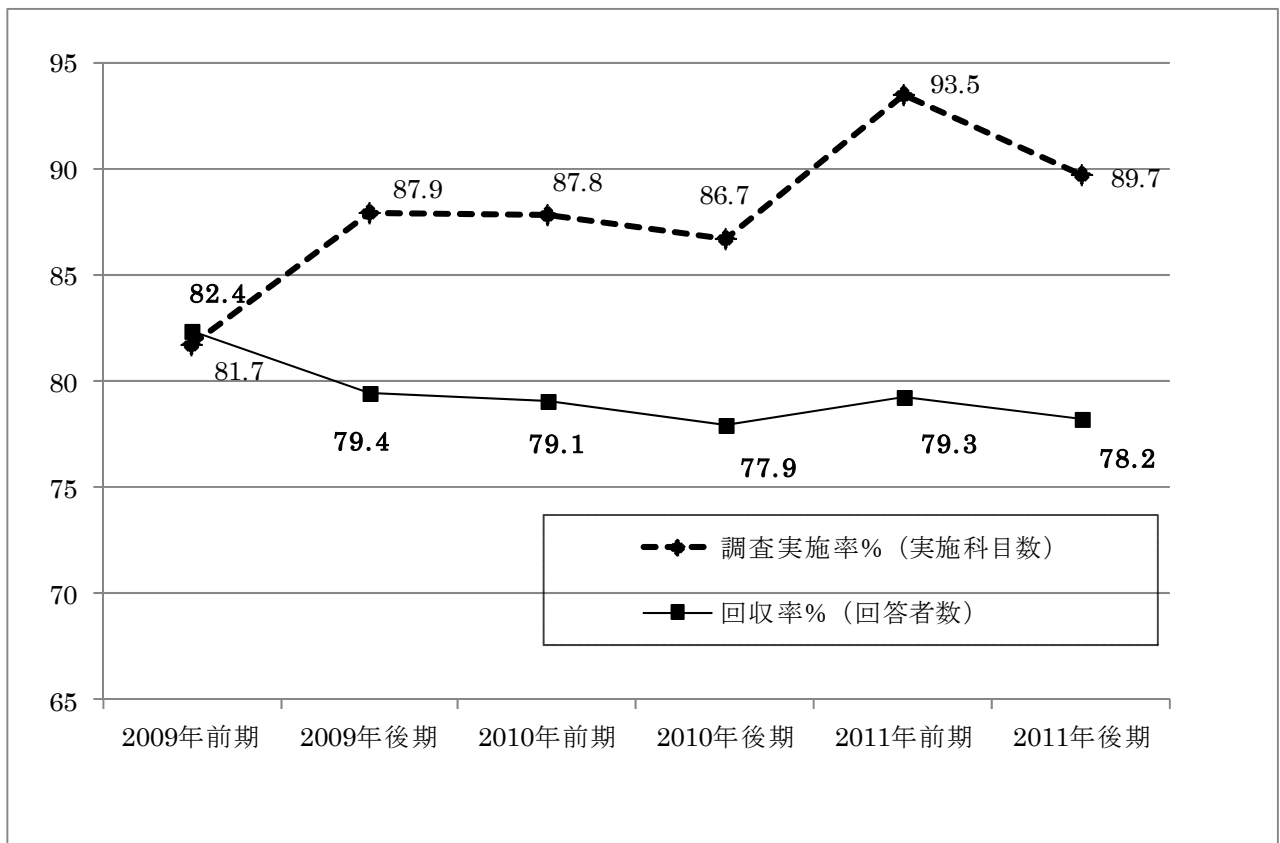
対象科目数：348

実施科目数：312（実施率89.7%）

実施科目の履修者数：12,242名

回答者数：9,579名（回収率78.2%）

過去3年間の推移をみると、実施率はほぼ85%を超えています。とりわけ今年度の実施率は90%あたりまで上がっています。一方、回収率は80%を下回る傾向が見られます。



## 2. 結果の概要

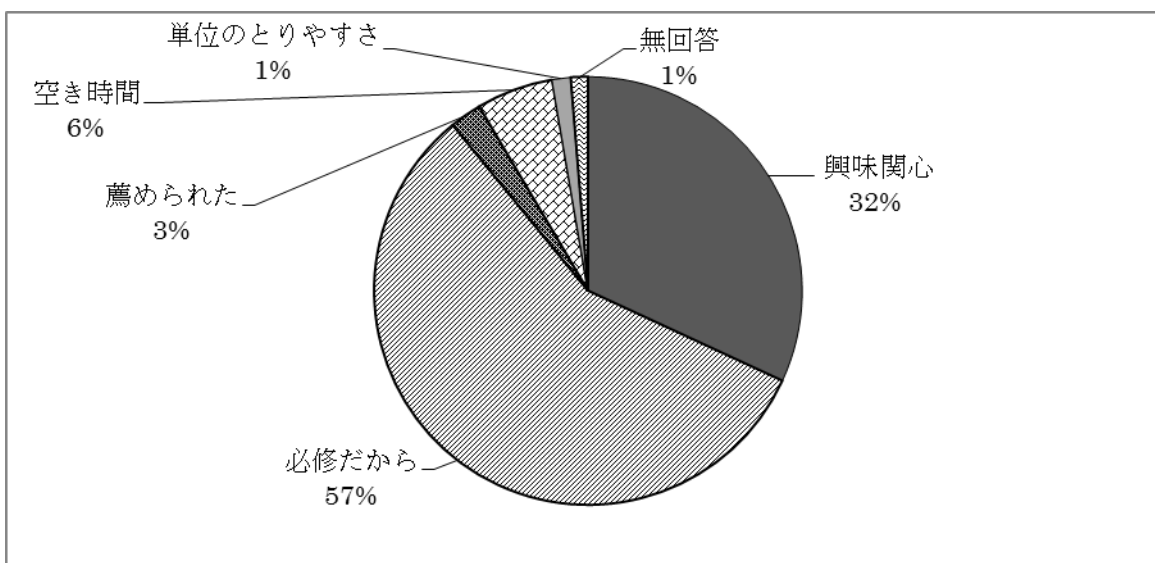
### (1) 項目別の回答分布一覧

項目別の回答分布一覧を以下に示します。なお 2011 年度前期から新たに加えた項目は次の 3 つです。

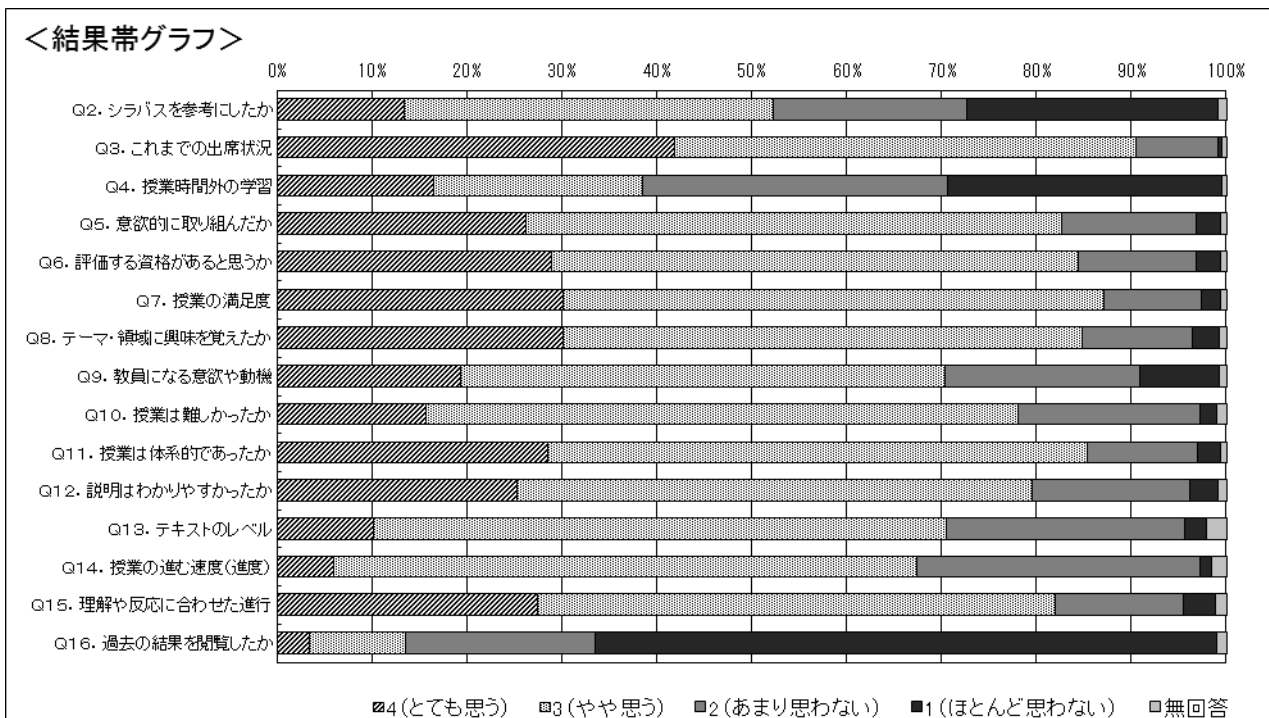
- ・ Q 6 この授業を公正に評価する資格があると思うか
- ・ Q 1 5 担当教員は受講生の理解や反応を受け止めながら授業を進めていたか
- ・ Q 1 6 教育支援システム上で、過去の受講科目のアンケート結果を閲覧しているか

### ■ Q 1 受講動機 (複数回答 N=10591 を 100% に換算)

受講動機については、例年と同様に「必修だから」が最も多く半数を超え、続いて「興味関心」を理由に受講したという回答がおおよそ 3 割となっています。それ以外の回答分布もほぼ例年通りです。



### ■ Q 2 ~ 1 6 全体回答分布一覧



Q 2 ~ 1 6 のうち、「ほとんど思わない」「あまり思わない」という回答の割合が多い項目は、「Q 2 シラバスを参考にしたか」「Q 4 授業時間外の学習」「Q 1 6 過去のアンケート結果を閲覧したか」です。

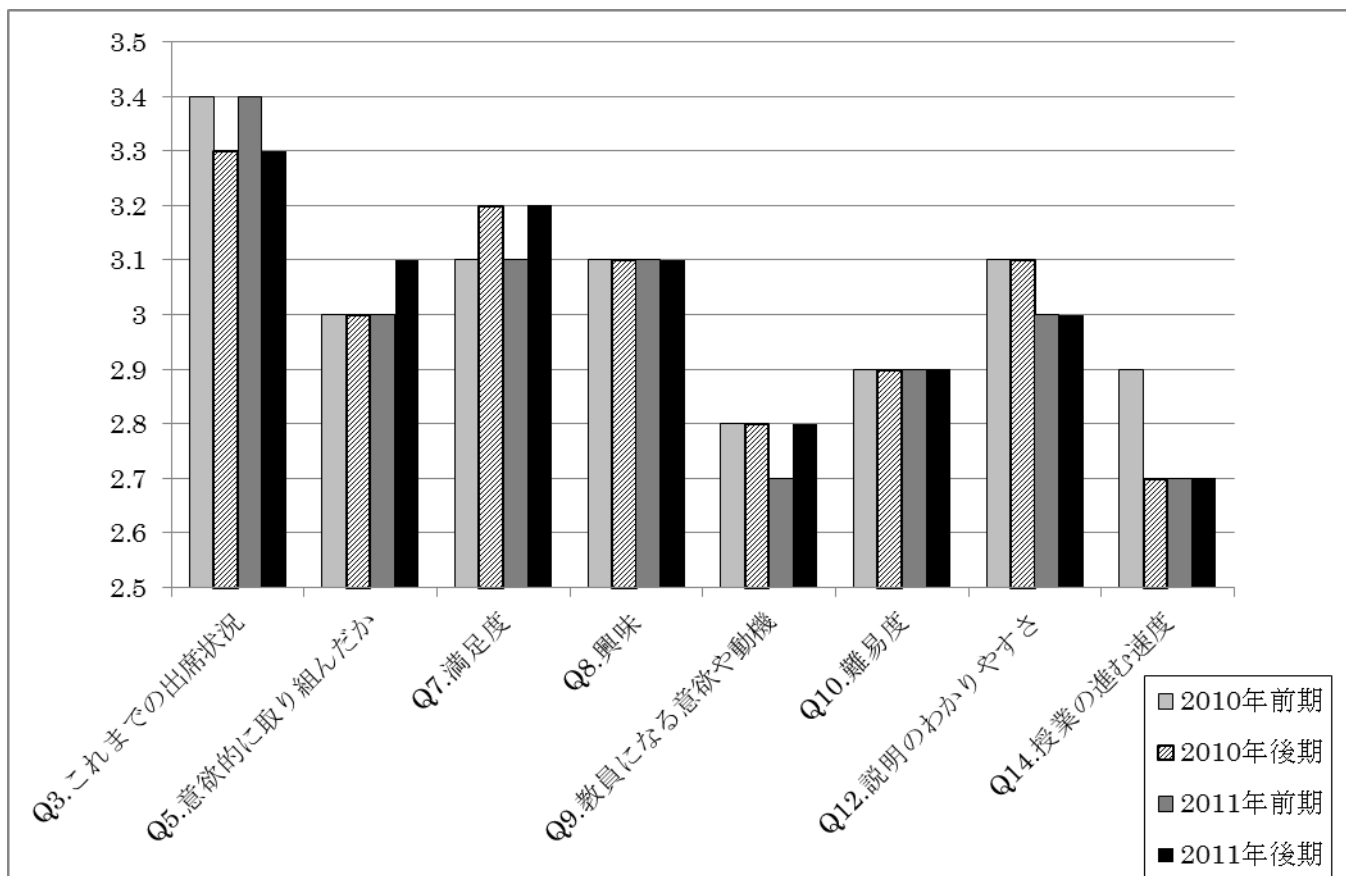
とりわけ「Q 4 授業時間外の学習時間」については、「ほとんど費やさなかった」という回答が約 30% であり、「1 時間未満」と合わせるとおよそ 60%に上ります。

一方、「とても思う」「やや思う」の割合が高いのは、「Q 2 これまでの出席状況」「Q 7 授業の満足度」「Q 1 1 授業は体系的であったか」などです。なかでも、出席状況については、90%の回答者が「0～2 回の欠席」と答えています。また、満足度については、「とても満足した」「やや満足した」という回答を合わせると 80%を超えています。

なお、「Q 9 教員になる意欲や動機」という項目については、およそ 70%が高まったという肯定的な回答をし、30%は高まらなかったという回答をしています。

## (2) 過年度と同一項目の平均の比較

昨年度以前から継続して実施している項目について、その平均値を比較したのが以下の棒グラフです。例年とほぼよく似た傾向が続いています。2011 年度後期には「Q 5 意欲的に取り組んだか」という項目の平均値がわずかに高くなっていることを見て取れます。



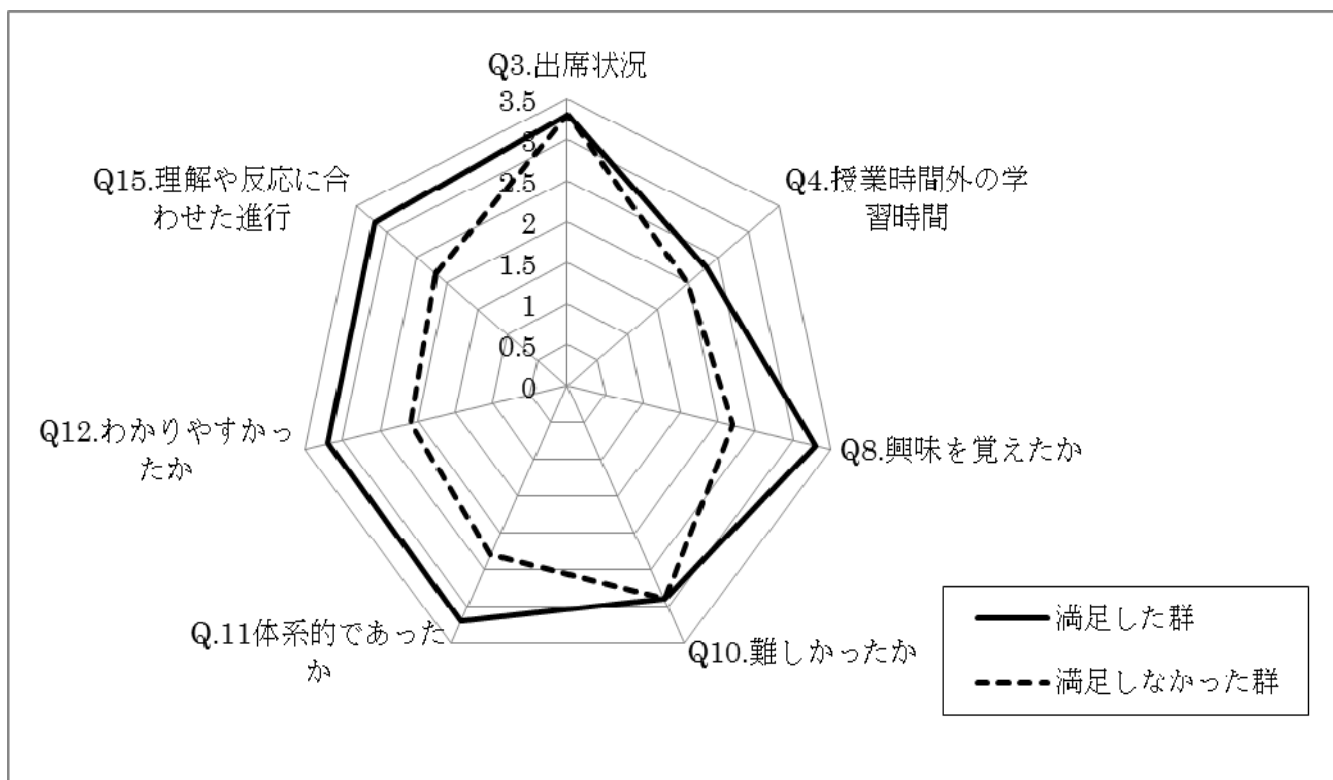
## (3) 「満足した群」と「満足しなかった群」の違い

「授業に満足した群」と「満足しなかった群」の平均値を比較した図を次ページに示しています。ここからは、「出席状況」「難しかったか」という項目においては両群の違いがそれほどないことが見て取れます。また、「授業時間外の学習時間」についてもそれほど大きな違いはありません。

一方、「興味を覚えたか」「体系的であったか」「わかりやすかったか」「理解や反応に合わせた進捗をしていたか」という項目については、両群の平均値のひらきが大きくなっています。

これは、23 年度前期のアンケート結果とほぼ同様の傾向です。

講義内容についての興味を引き出すとともに、体系的でわかりやすく、学生の理解や反応に合わせた進行をすることで、学生たちの講義への満足度は高まること、あらためて浮き彫りとなっています。



以上の結果を参考に、今後の授業改善に役立てていただけたら幸いです。

FD委員会では、今年度も、授業アンケートの実施のほか、研修会の実施を予定しています。今後ともご協力くださいますよう、お願いいたします。

\*\*\*\*\*

**【図書紹介】**

京都FD開発推進センター『まんがFDはんどぶっく おしえて！FDマン【新任教員編】』

[http://www.kyoto-fd.jp/handbook/digital\\_book/index.html](http://www.kyoto-fd.jp/handbook/digital_book/index.html)

京都FD開発推進センター『まんがFDはんどぶっく おしえて！FDマン vol.2【成績評価編】』

[http://www.kyoto-fd.jp/handbook/digital\\_book\\_vol2/index.html](http://www.kyoto-fd.jp/handbook/digital_book_vol2/index.html)

京都FD開発推進センターが、おもに新任教員を対象とした研修プログラムの開発を進めるなかで作られたハンドブックです。マンガ形式で、大学における授業実践の工夫の仕方がわかりやすく描き出されています。

「新任教員編」では、「授業運営の工夫」「さまざまな授業形態」「教材・教具の活用」のほか、「こんな時、どうしたら・・・」という具体的な疑問に対する解決の糸口が示されています。

「成績評価編」では、成績評価の方法をどのように工夫し、学生へフィードバックしたらよいのか、などについて具体的な場面をもとに検討されています。

いずれも電子ブック版になっており、上記のホームページアドレスにおいて読むことができます。

\*\*\*\*\*

問い合わせなどがありましたら、下記の委員までお願いいたします。

FD委員会委員：安東（委員長）、山口（副委員長）、村田、内田、樋口  
事務担当：高松、相原、大谷